

## 35号 特集 精神医療を考える

精神障害のある人にとって、精神医療は安定した暮らしを支える必須のものである。しかし、患者中心の精神医療が実現するまでには、課題が山積みの現状がある。今号では、現在の精神医療の抱える課題を考えるべく特集を組んだ。精神医療の現場からは、時代とともに精神病院の歩みを見つめてこられた東京足立病院の赤松晶子さん、精神障害者の労働者としての権利保障の問題を浜田クリニックの梶原徹先生にご報告いただいた。東京精神医療人権センターの小林信子さんには「精神障害者と人権」の問題について語っていただいた。精神医療の問題に迫ることで、現代社会の抱える大きな課題が見えてくる。